Seahonence Bed™

超低床スタンダードコンセプトベッド

FL-5400 シリーズ

取扱説明書

保証書付

※イラストはFL-5460FTです

もくじ

はじめに

使いかた

こんなときは

ベッドを正しくお使いいただくために シーホネンスからのお願い

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。

●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。

●ベッドを使用される方ばかりでなく、付き添いの方にも安全な操作方法を説明してください。

●お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

●ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せください。

est.1937～ re-birth 2001 SEAHONENCE Inc.

シーホネンス株式会社

はじめに

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

必ずご使用前に『**安全にお使いいただくために**』をよくお読みになり正しくお使いください。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	内容
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

絵表示	説明
感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。
必ず守る	❶記号は、必ず実行していただく強制の内容があることを告げるものです。左図は、「必ず守る」を示します。

ベッドのご使用時には、下記の項目の『警告』および『禁止』を必ずお読みください。

■警告ラベルについて ☞1ページ参照
■警告内容について ☞2～3ページ参照
■注意内容について ☞4～5ページ参照

警告ラベルについて

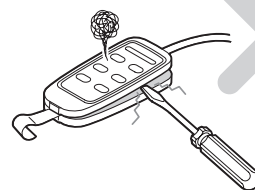
ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、各ユニットなどに貼っています。

●**警告ラベルは、はがしたり傷をつけたりしないでください。**

警告 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●分解、改造はしない

分解禁止

事故、破損の原因となります。手元スイッチや電源ボックスなどを分解・改造しないでください。
また、弊社指定の技術者以外の方は、絶対に修理しないでください。

●お手入れは電源プラグを抜いてからおこなう

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
事故、破損の原因となります。

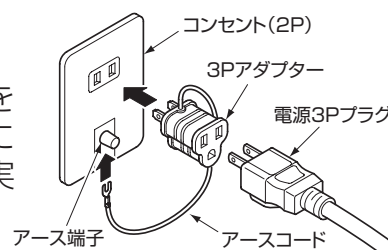
●電源プラグの点検

感電注意

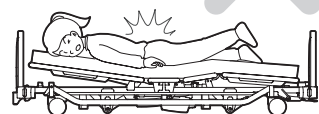
火災、感電の原因となります。
電源プラグを定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で、刃およびその取付け面を拭いてください。
電源プラグにホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁不良を起こしやすくなり、発火するおそれがあります。

●3Pアダプター使用時はアースを必ずつける

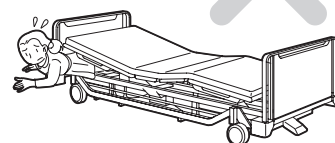
感電注意

2Pコンセントで使用するときは、3Pアダプターを使用してください。この場合は、必ずアダプターについているアースをコンセントのアース端子に確実に接続してください。

●うつ伏せで背上げ操作をしない

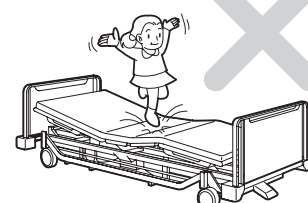
禁 止

事故、ケガの原因となります。
うつ伏せで寝た状態での背上げ操作は関節を逆さに曲げることになり、ケガの原因になります。

●ベッドの中やフレームの間にもぐりこまない

禁 止

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやセーフティサイドレールとの間に頭や、腕や足を挟むとケガの原因となります。
ベッドの中にもぐり込んだり、ベッドの中に頭、腕や足などを入れないでください。ベッドの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。

●踏み台代わりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねない

禁 止

ベッドからの転落、転倒してケガの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。

●セーフティサイドレール、ヘッド・フットボードのすき間に注意する

必ず守る

事故、ケガの原因となります。セーフティサイドレールや、ヘッド・フットボード各部のすき間に頭や首が入らないよう注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。

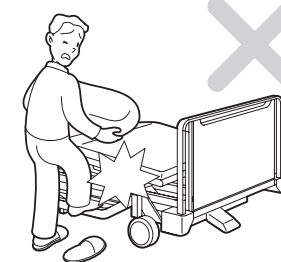
●手や足などを挟まれないように注意する

必ず守る

事故、ケガの原因となります。ベッドの操作時には、頭や腕、足をベッドの外に出してセーフティサイドレールや周辺の家具などに挟まれたりしないように十分注意してください。また、医師や、看護、介護される方も患者さんの身体の位置や、状態に注意しておこなってください。特に、ベッドの操作中は、ベッドフレーム、ボトムの下に手や足を入れないでください。

●足先をベースフレームの上や下に置かない

禁 止

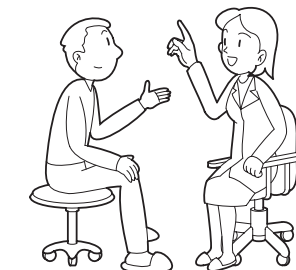
足先を挟んでケガの原因となります。
ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレームの下に置いたりしないでください。

●誤操作による事故を防ぐために

必ず守る

お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合は、目の届かない位置に保管、または手元スイッチをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

●症状にあわせて使用する

必ず守る

患者さんあるいはご家族の方が直接ベッドを操作される場合は、医師や看護する方から症状にあった使用方法について十分説明をうけたうえでご使用ください。症状によっては、ベッドの操作が症状を悪化させる場合があります。

●乳幼児には使用しない

禁 止

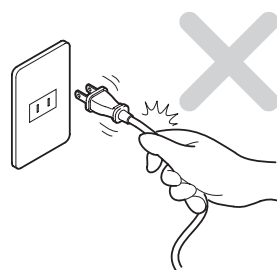
事故、ケガの原因となります。
このベッドは、大人用の設計になっています。乳幼児が使用しますとヘッド・フットボードやセーフティサイドレールなどのすき間に挟まったり、すき間から転落する可能性がありますので絶対に使用しないでください。

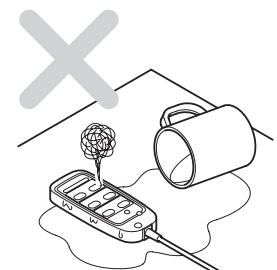
注意　以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人がケガを負う可能性や物品的損害の発生が想定されます。

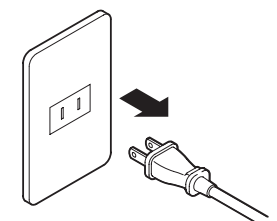
●コードを傷つけない

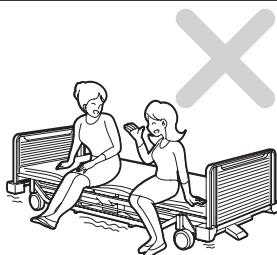
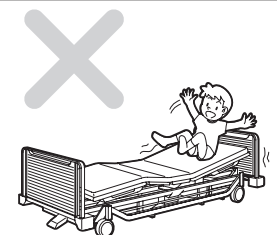
事故、破損の原因となります。
手元スイッチを落としたり、手元スイッチのコードや電源コードを強く引っ張ったり、ベッドを操作するときにコードを挟まないようにしてください。

●電源コードを持って抜かない

故障、感電の原因となります。
電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

●手元スイッチに水やジュースをこぼさない

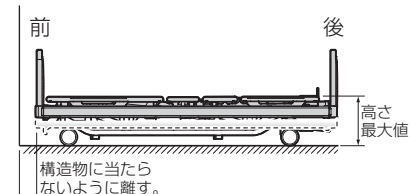
感電、事故、破損の原因となります。
手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースなどをこぼさないでください。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●長時間使わないときは電源プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

●ベッドを二人以上で使用しない

事故、破損の原因となります。
このベッドの最大使用者体重は1350N（138kg）です。

●上がっている背ボトムや足ボトムに乗らない

事故、破損の原因となります。

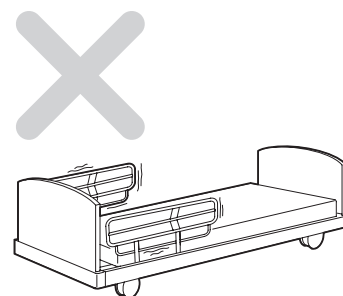
●高さ調節のとき、壁や梁に気をつけてください

ベッドの高さ調節で、前後に動きます。ご使用する際は、壁や梁に当たらないように確認してください。

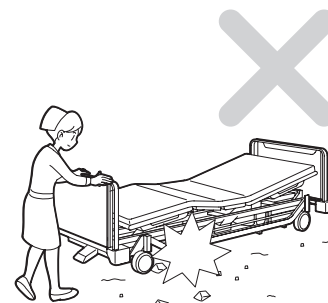
はじめに

●他社製品とは組み合わせない

禁 止

事故、破損の原因となります。
マットレス、セーフティサイドレールなどは他社製品を使わないでください。
必ず弊社適合商品をお使いください。

☞20～22ページ参照

●不安定な路面での移動はさける

禁 止

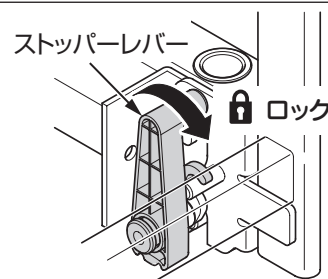
事故、破損の原因となります。
凹凸の激しい路面や、段差の大きな路面での移動はできるだけおこなわないでください。
もしそのような場所で移動される場合は、ベッド高さを少し上げてゆっくり移動させてください。

●スイッチ操作は慎重におこなう

必ず守る

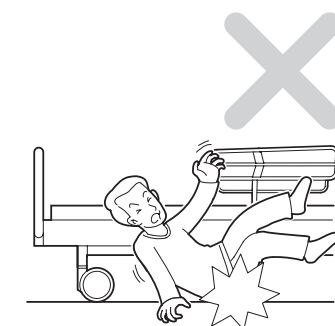
事故、ケガの原因となります。
手元スイッチの操作は便利で簡単ですが、スイッチ操作時は、患者さんの身体位置、状態を確認しながらおこなってください。また、操作前にベッドの下および、ベッド周辺を十分にチェックしてからおこなってください。

●ボードストッパーは必ずかける

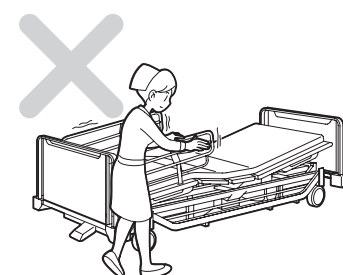
必ず実行

ボードストッパーは、必ずかけてご使用ください。
ベッド移動でボードを押す(引く)ときや身体を支えるためにボードにつかまったとき、外れると転倒してケガをするおそれがあります。

●ベッドからの転落に十分注意する

必ず守る

セーフティサイドレール使用時でも、セーフティサイドレールとセーフティサイドレール、各ボードとセーフティサイドレールのすき間から落下したり、セーフティサイドレールの上から身をのり出して落下して、ケガをするおそれがあります。

●セーフティサイドレールを持ってベッドを動かさない

禁 止

セーフティサイドレールを持ってベッドを動かさないでください。セーフティサイドレールに大きな力がかかり、変形・破損のおそれがあります。

仕　様

品　名		FL-5400(3モーター)　シリーズ		
品　番		FL-5460FT	FL-5460G	FL-5460C
寸法	全　長	221cm		
	全　幅	99cm（ボトム幅89cm）		
	高　さ	FT(フミフミロック):25～62cm (床からボトム面の高さ)	G(グラウンドロック):23.5～60.5cm (床からボトム面の高さ)	C(対角ロック):23.5～60.5cm (床からボトム面の高さ)
	キャスター	12.5cm双輪キャスター (トータルロック)	7.5cm単輪キャスター (グラウンドロック)	10cm双輪キャスター (対角ストッパー付キャスター)
材質	ヘッドフットボードの材質	木製(木目化粧シート貼り)、ウレタン塗装および鋼管製		
	コーナーバンパーの材質	ポリプロピレン樹脂成型品		
	ボトム材質	ワイヤーメッシュボトム抗菌粉体塗装		
	メインフレームの材質	鋼板および鋼管抗菌粉体塗装		
最大使用者体重／安全使用荷重		1350N(138kg)/1700N(174kg)		
消費電力		170W以下		
電源		入力　AC 100V 50/60Hz　:　出力　DC 24V		
背上げ		駆動方式：アクチュエータ　/　背上げ角度：0～70度（無段階） 連続使用時間：2分（間欠18分）　/　モーター形式：DCモーター（24V）		
膝上げ		駆動方式：アクチュエータ　/　膝上げ角度：0～40度（無段階） 連続使用時間：2分（間欠18分）　/　モーター形式：DCモーター（24V）		
高さ調整		駆動方式：アクチュエータ　/　昇降距離：37cm 連続使用時間：2分（間欠18分）　/　モーター形式：DCモーター（24V）		

品　名		FL-5400(2モーター)　シリーズ					
品　番		FL-5461FT	FL-5462FT	FL-5461G	FL-5462G	FL-5461C	FL-5462C
寸法	全　長	221cm					
	全　幅	99cm（ボトム幅89cm）					
	高　さ	FT(フミフミロック):25～62cm (床からボトム面の高さ)		G(グラウンドロック):23.5～60.5cm (床からボトム面の高さ)		C(対角ロック):23.5～60.5cm (床からボトム面の高さ)	
	キャスター	12.5cm双輪キャスター (トータルロック)		7.5cm単輪キャスター (グラウンドロック)		10cm双輪キャスター (対角ストッパー付キャスター)	
材質	ヘッドフットボードの材質	木製(木目化粧シート貼り)、ウレタン塗装および鋼管製					
	コーナーバンパーの材質	ポリプロピレン樹脂成型品					
	ボトム材質	ワイヤーメッシュボトム抗菌粉体塗装					
	メインフレームの材質	鋼板および鋼管抗菌粉体塗装					
最大使用者体重／安全使用荷重		1350N(138kg)/1700N(174kg)					
消費電力		170W以下					
電源		入力　AC 100V 50/60Hz　:　出力　DC 24V					
背上げ		駆動方式：アクチュエータ　/　背上げ角度：0～70度（無段階） 連続使用時間：2分（間欠18分）　/　モーター形式：DCモーター（24V）					
膝上げ（連動時）	駆動方式	背・足連動 (ケアモーションタイプ)	背・足連動 (足連動モーションタイプ)	背・足連動 (ケアモーションタイプ)	背・足連動 (足連動モーションタイプ)	背・足連動 (ケアモーションタイプ)	背・足連動 (足連動モーションタイプ)
	膝上げ角度	0度～15度～0度 (解除も可能)	0度～15度 (解除も可能)	0度～15度～0度 (解除も可能)	0度～15度 (解除も可能)	0度～15度～0度 (解除も可能)	0度～15度 (解除も可能)
高さ調整		駆動方式：アクチュエータ　/　昇降距離：37cm 連続使用時間：2分（間欠18分）　/　モーター形式：DCモーター（24V）					

主要部のなまえとはたらき

手元スイッチ

ベッドの高さ、ボトムの角度を無段階で調節できます。
上部についているフックで定められた場所にかけてください。
※操作(動作)については、「手元スイッチ」参照してください。

8〜10ページ参照

ヘッド・フットボード

ボードストッパーを起こして、上に持ち上げると外れます。

17〜18ページ参照

背ボトム

マットレス止め

マットレスのズレを防止します。

19ページ参照

電源コード

座ボトム

膝ボトム

足ボトム

トータルロックキャスター

車輪径Φ12.5cmの大型キャスターで、ベッドを楽に旋回、搬送することができます。

セーフティサイドレール取付け穴

セーフティサイドレールを取り付けられます。
片側にそれぞれ4ヶ所あります。

20ページ参照

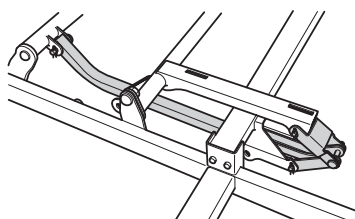
トータルロックペダル

キャスターのロック･解除が簡単に4輪同時にできます。

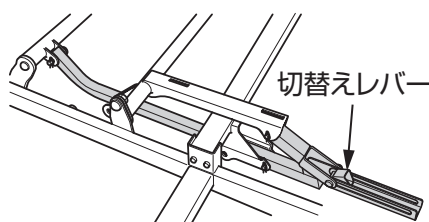
14ページ参照

ケアモーション

固定しているピンとスナップピンを外して組みかえることで、背ボトムのみと、ケアモーション機構の2種類選べます。（2モーターのみ）

11ページ参照

背上げ足連動

切替えレバーにより、背ボトムのみと、背ボトムが連動して動く足連動の2種類選べます。(2モーターのみ)

12ページ参照

※イラストはFL-5460FTです

使いかた

手元スイッチ

なまえとはたらき

FL-5460FT 、FL-5460G 、FL-5460C

3モーター

FL-5461FT 、FL-5461G 、FL-5461C
FL-5462FT 、FL-5462G 、FL-5462C

2モーター

操作ランプ
ボタン操作時に点灯します。

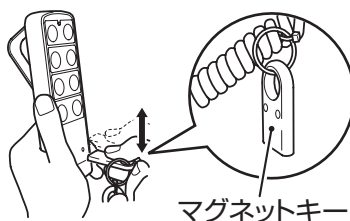
膝ボトムの上げ下げボタン
膝ボトム(あし)の角度が調節できます。

背・膝ボトムの上げ下げボタン
背ボトム(あたま)・膝ボトム(あし)の角度が同時に調節できます。

背ボトムの上げ下げボタン
背ボトム(あたま)の角度が調節できます。

ベッドの上げ下げボタン
ベッドの高さが調節できます。

電源ランプ
電源プラグをコンセントに差すと点灯します。

セーフティロックスイッチ
付属の専用マグネットキーを操作禁止の表記部付近で上下にかざすと、手元スイッチの操作可能・禁止の切り替えができます。

● **操作禁止ランプについて**
手元スイッチの操作可能・禁止状態を表わします。

点灯時：操作可能
消灯時：操作禁止

※電源プラグをコンセントから抜いて、再度コンセントに差し込んだ場合、操作禁止状態になります。ベッドを操作する場合は、マグネットキーで操作可能に切り替えて下さい。

お願い

● 手元スイッチは指定の場所に掛けてください。

ヘッドボードやセーフティサイドレールなどに必ず掛けてください。

Point

● 手元スイッチを押してもベッドが動かないときは、「故障かな？と思ったら」を参照して点検してください。 ☞23ページ参照
それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。

● モーターの連続使用時間は2分までです。2分以上の連続使用はおこなわないでください。
続けて使用する場合は十分に時間をおいて使用してください。

お願い

● お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合には、電源プラグをその都度コンセントから抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

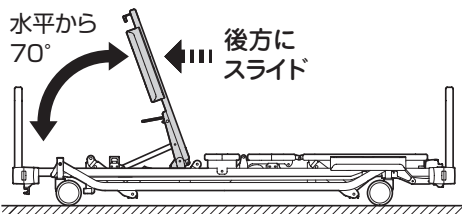
● 手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。
万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

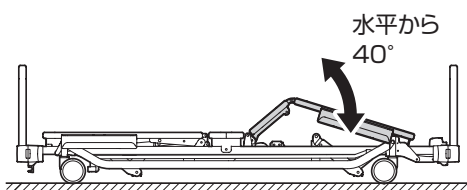
3モーター	FL-5460FT 、FL-5460G 、FL-5460C

背上げについて

- ベッドから起き上がるとき
- ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

■背ボトムの角度を調節できます。

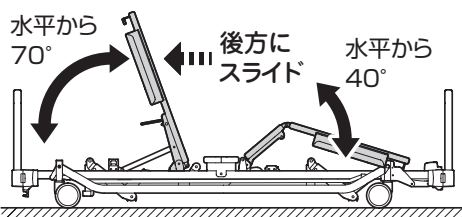
背ボトムは、水平から最大70度まで調節できます。

膝上げについて

- 背上げをおこなう場合に便利
- からだに負担をかけない

■膝ボトムの角度を調節できます。

膝ボトムは、水平から最大40度まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

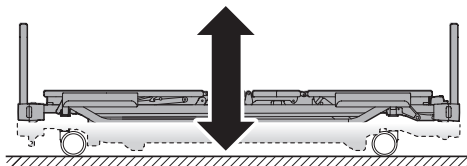
背・膝上げについて

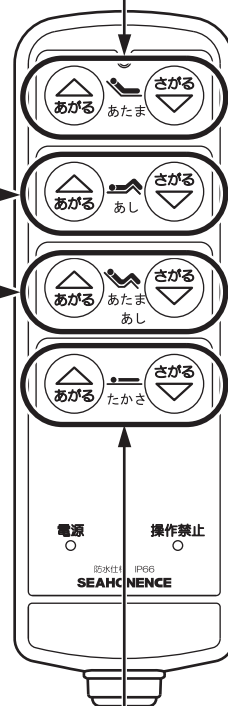
- 体のずれを少なく背上げを行う場合に便利

■背・膝ボトムを同時操作できます。

背ボトムは水平から最大70度、膝ボトムは水平から最大40度まで同時に調節できますが、どちらかが水平または最大になると片側のみの操作になります。

高さ調節について

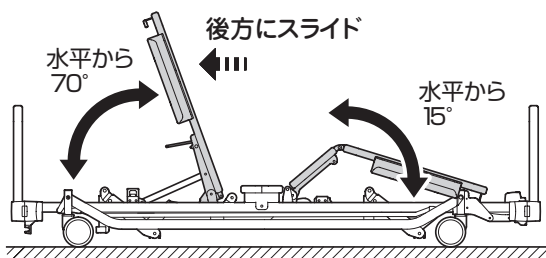
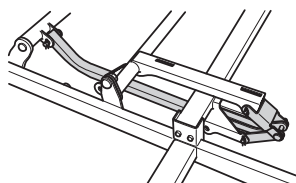
- 乗り降りのときに高さを調節
- 検診などしやすい高さに調節するのに便利
- ベッドの下や周辺を掃除するときに便利

FT(フミフミロック)	:25～62cm
G(グラウンドロック)	:23.5～60.5cm
C(対角ロック)	:23.5～60.5cm

■ベッドの高さを調節できます。

床からボトムまでの高さをFT（フミフミロック）は25～62cm、G・C（グラウンドロック・対角ロック）は23.5～60.5cm間で調節できます。

●ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調節し、座ボトムに腰かけてからおこなってください。
他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、足ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

2モーター　FL-5461FT、FL-5461G、FL-5461C、FL-5462FT、FL-5462G、FL-5462C

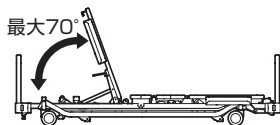
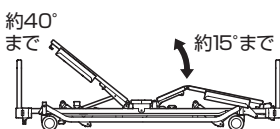
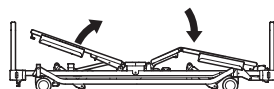
背上げについて

- ベッドから起き上がるとき
- ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

ケアモーション　FL-5461FT、FL-5461G、FL-5461C

ケアモーションは、背上げの際、背上げ動作と同時に足上げが約15度になると自動で足下げ動作に移行しますので、自然な座位を保ちながら身体の前ズレを最小限に抑え、背上げが最大70度になると足はフラットになるため、腹圧も軽減できる機能です。

背上げ時

①背ボトムが上がると同時に膝ボトムが上がります。

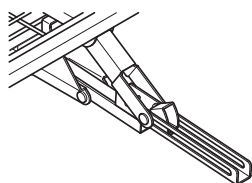
②背ボトムが約40度まで上がると膝ボトムは約15度まで上がります。さらに背ボトムが上がると膝ボトムは下がり始めます。

③背上げ持、背ボトムが約70度まで上がると膝ボトムは水平まで下がります。

背下げ時

③背ボトムが下がると膝ボトムは水平まで下がります。

②背ボトムが約40度まで下がると膝ボトムは約15度まで上がります。さらに背ボトムが下がると膝ボトムは下がり始めます。

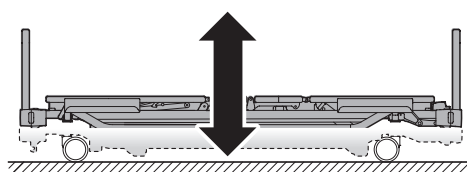
①背ボトムが下がると同時に膝ボトムが下がります。

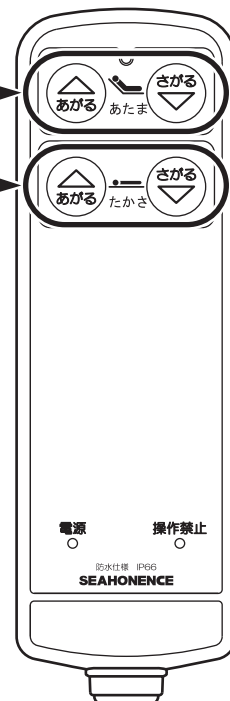
足連動モーション　FL-5462FT、FL-5462G、FL-5462C

足連動モーションは、背上げが約50度になるまでに、連動して最高位置（15度）まで足上げ動作を実行。身体のズレを最小限に抑えながら、快適に背上げがおこなえ、圧迫感も軽減する機能です。

·背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム70度、膝ボトム15度まで上がります。
·2モーターは、膝ボトムだけでの角度調整はできません。

高さ調節について

- 乗り降りのときに高さを調節
- 検診などしやすい高さに調節するのに便利
- ベッドの下や周辺を掃除するときに便利

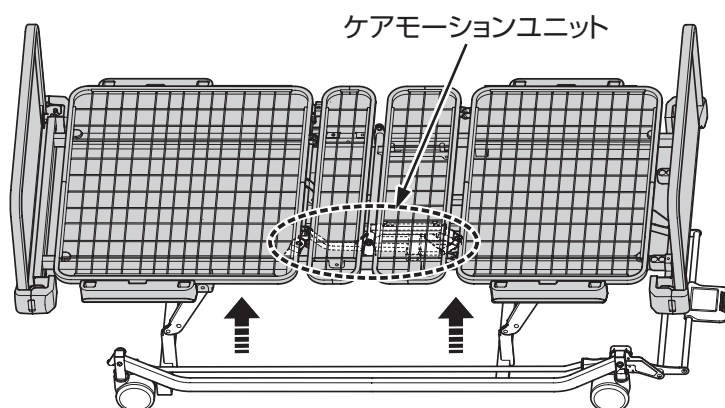
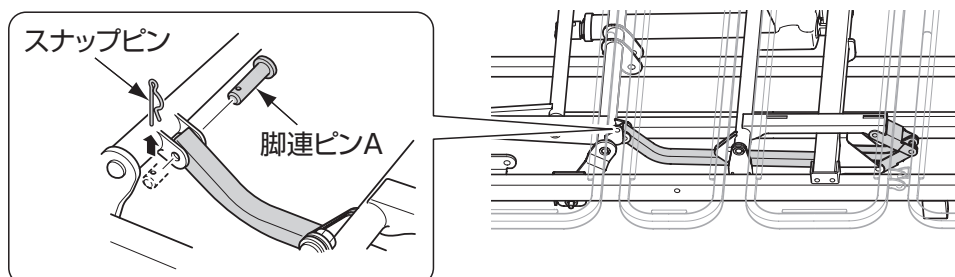
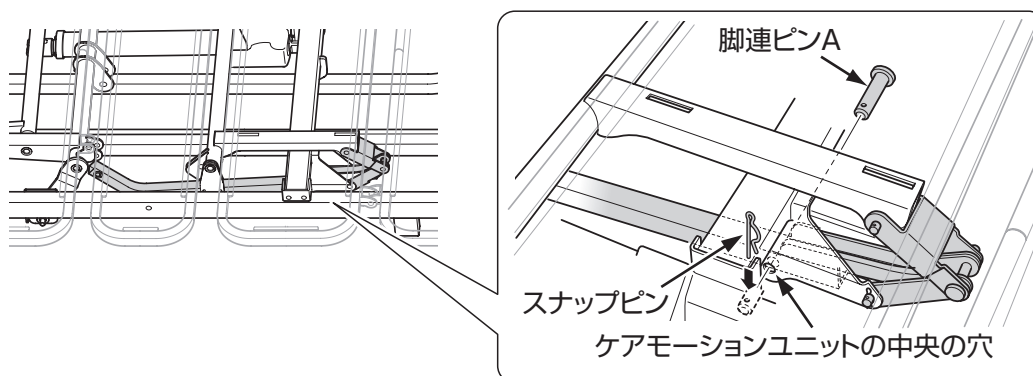
FT(フミフミロック)	:25～62cm
G(グラウンドロック)	:23.5～60.5cm
C(対角ロック)	:23.5～60.5cm

■ベッドの高さを調節できます。

床からボトムまでの高さをFT（フミフミロック）は25～62cm、G・C（グラウンドロック・対角ロック）は23.5～60.5cm間で調節できます。

ケアモーション

解除のしかた

●ピンとスナップピンを付けかえることにより、ケアモーションの解除ができます。

対象品番	FL-5461FT 、FL-5461G 、FL-5461C

1 ベッドの高さを一番上まで上げる

2 ケアモーションユニットを取り付けている脚連ピンAとスナップピンを取り外す

3 ケアモーションユニットの中央の穴と固定金具の下側の穴とを合わせて **2** で取り外した脚連ピンAとスナップピンを使用して取り付ける

警告

事故、破損をします。

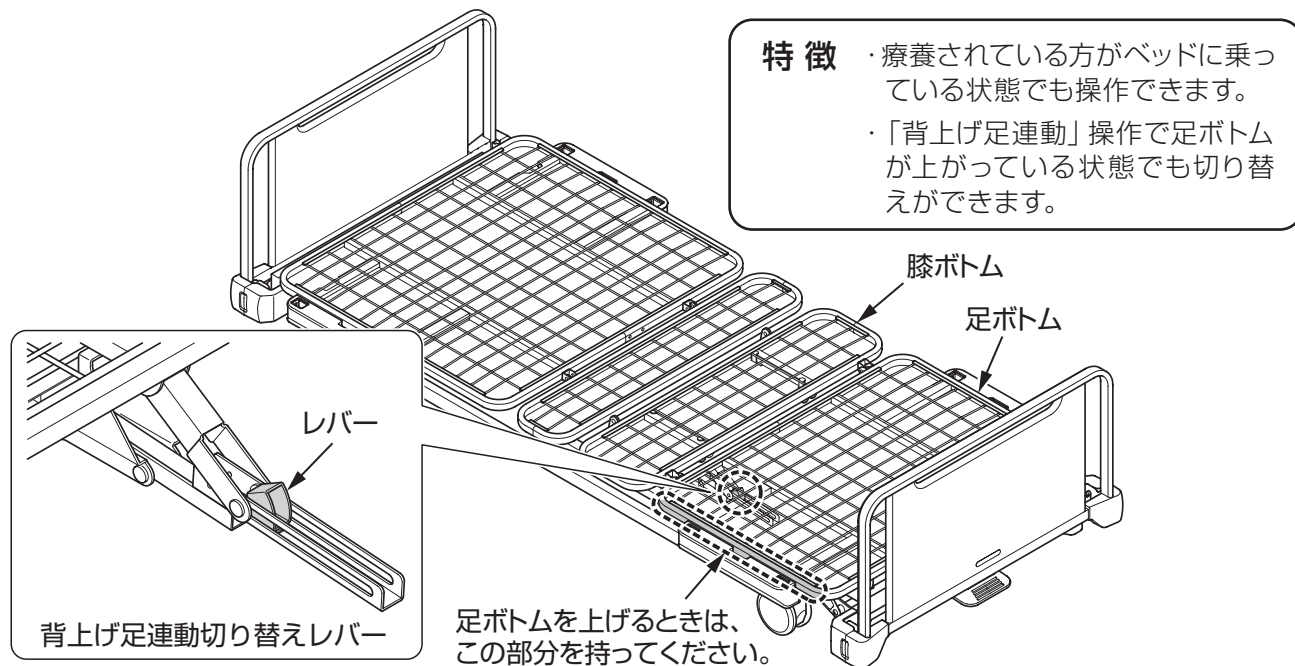
●脚連ピンAとスナップピンはしっかりと差し込んでください。

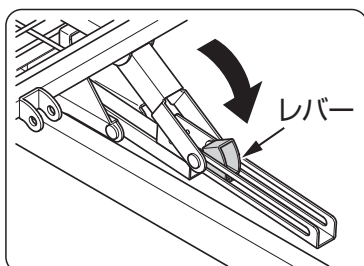
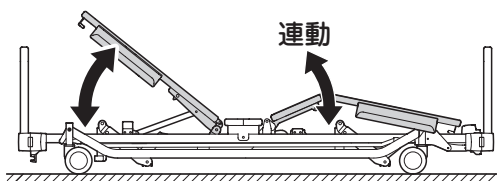
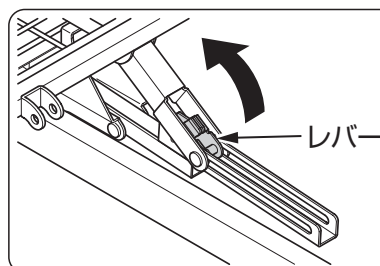
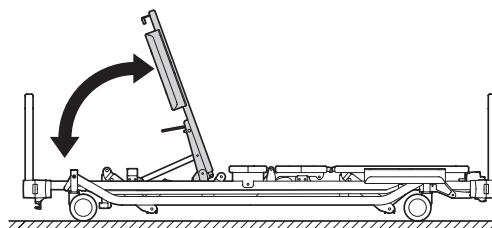
背上げ足連動切り替えレバー

操作のしかた

●切り替えレバーにより背ボトムと足ボトムが連動して上げる「背上げ足連動」と背上げのみの「背上げ」の2種類の上げかたが選択できます。療養されている方の状態に合わせて使い分けてください。

対象品番	FL-5462FT 、FL-5462G 、FL-5462C

特 徴
・療養されている方がベッドに乗っている状態でも操作できます。
・「背上げ足連動」操作で足ボトムが上がっている状態でも切り替えができます。

1 足ボトムを持ち上げる

2 背上げ足連動切り替えレバーを操作する

警 告

●背上げ足連動切り替えレバーの操作は、必ず手でおこなってください。
●ボトムとフレームの間で手を挟まないよう注意してください。

電源部・アクチュエーター部

モーターシステムの構成

手元スイッチ

電源部

アクチュエータ

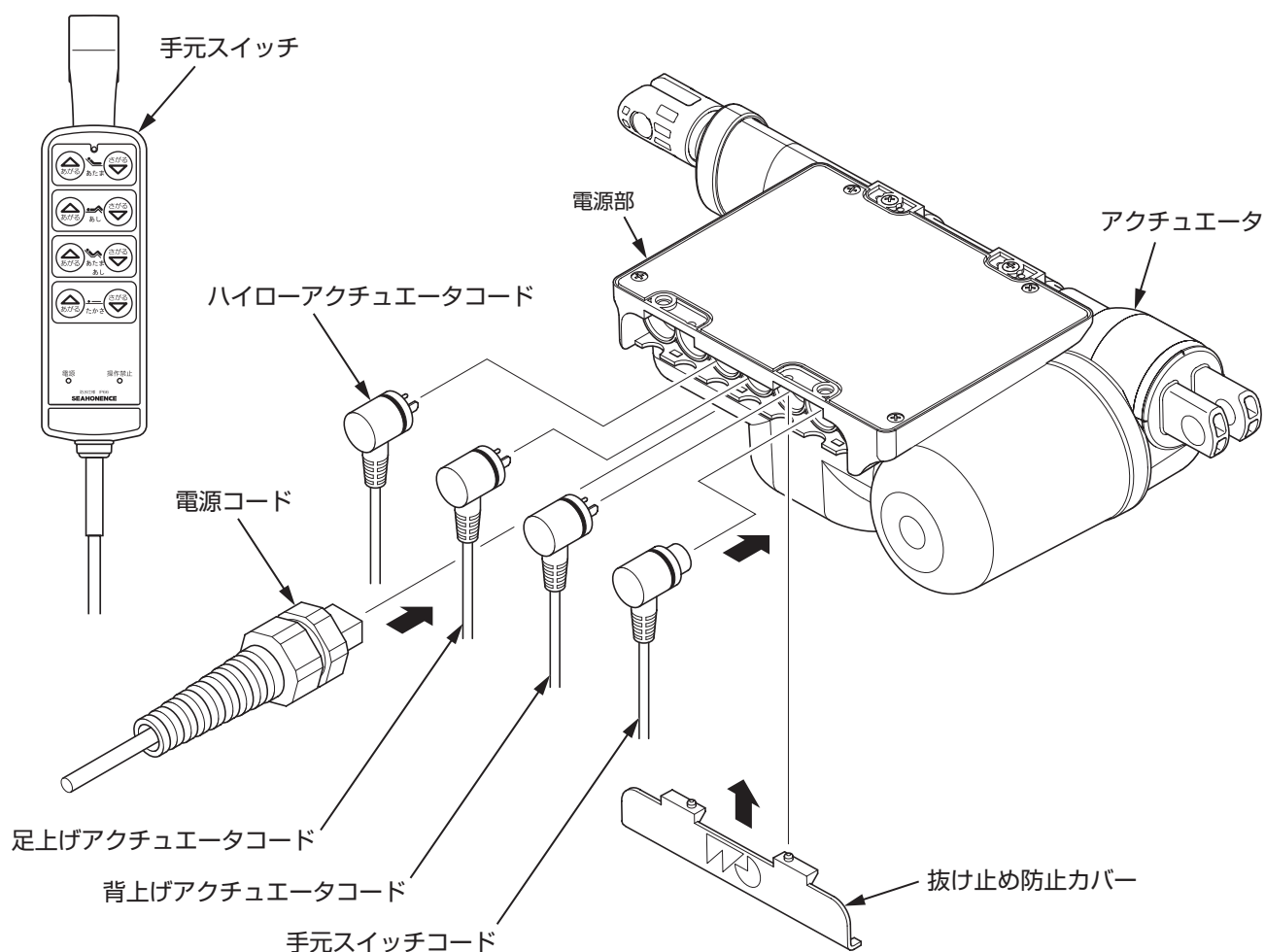
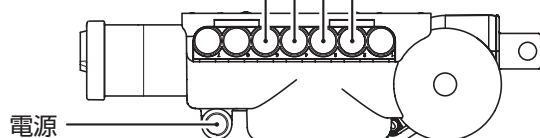
ハイローアクチュエータコード

電源コード

足上げアクチュエータコード

背上げアクチュエータコード

手元スイッチコード

抜け止め防止カバー

コード接続部詳細

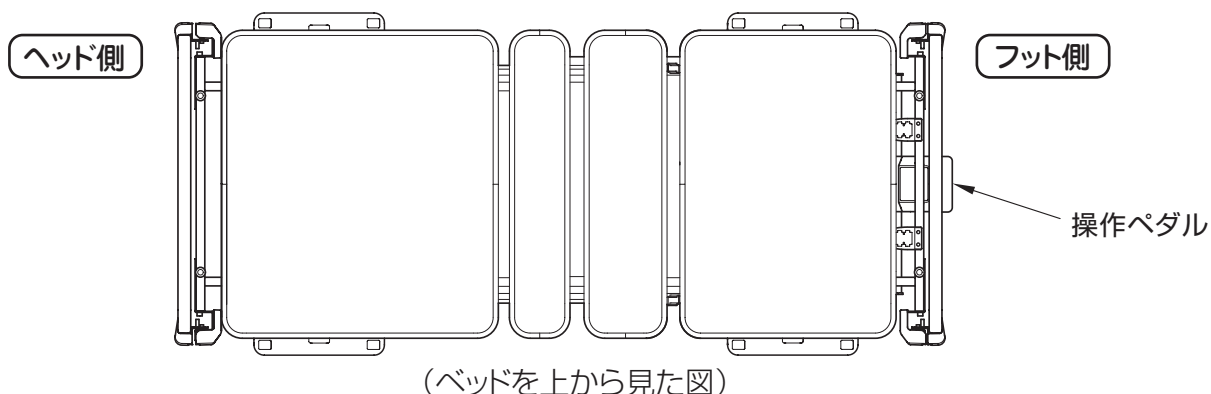
- 使用電源は100V以外では使用しないでください。
- 電源コードのプラグは確実にコンセントに差し込んでください。手元スイッチの電源ランプが点灯していることを確認してください。
- ボトムが上がりきる、または下がりきった時に手元スイッチのボタンを押しつづけると過電流がかかり回路が遮断され作動しなくなります。
- 手元スイッチのボタンを押したまま電源コードのプラグを抜かないでください。電源部の半導体が破損し、事故の原因になります。

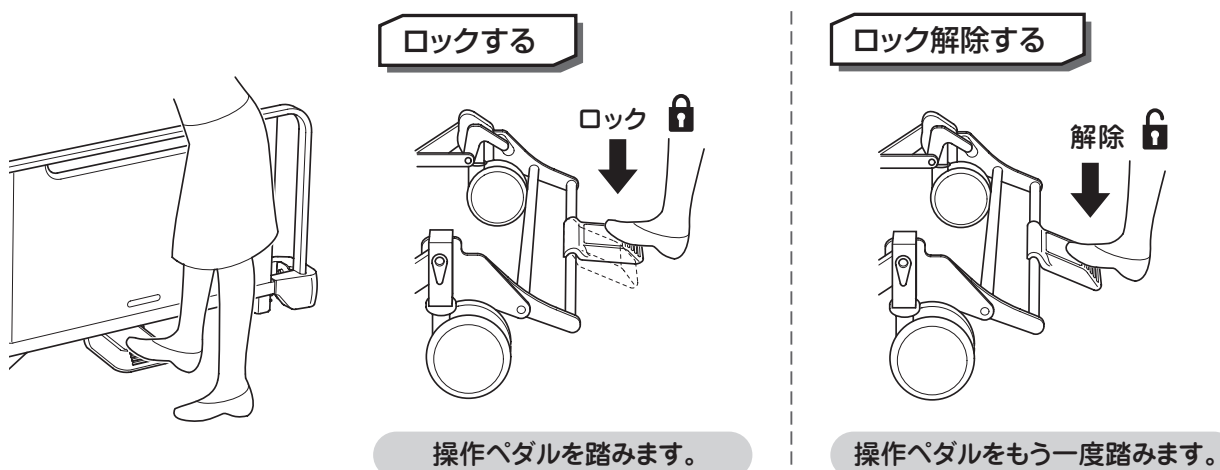
キャスター

トータルロックキャスター

●キャスターのロック操作は、ベッドのフット側下部にあるロックキャスターの操作ペダルを使用します。
●操作ペダルを踏むことによって、キャスターの首振りと回転が4輪同時にロックされます。

対象品番	FL-5460FT 、FL-5461FT 、FL-5462FT

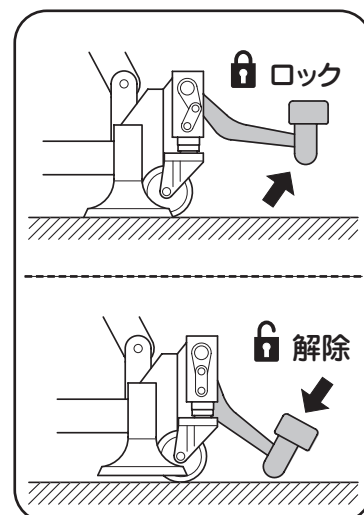
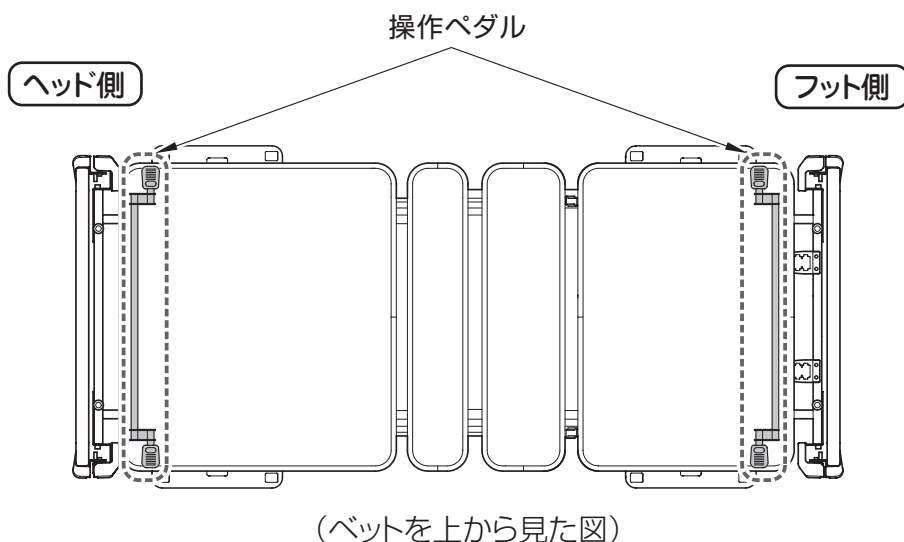
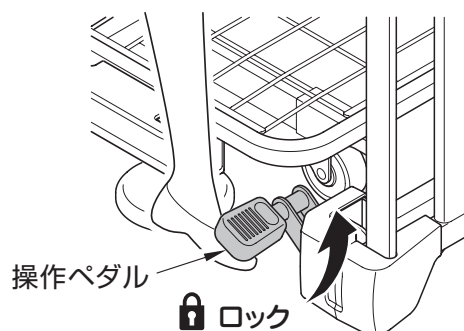
（ベッドを上から見た図）

フミフミロック

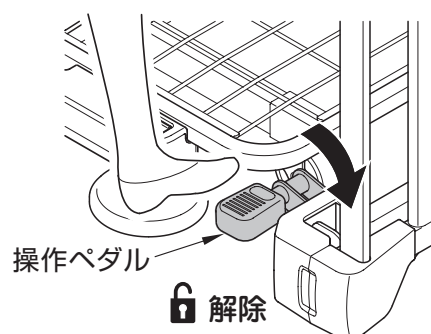
●操作ペダルを踏むことでキャスターのロックと解除が可能です。

事故、破損、ケガをします。
●移動する際は必ずロックが解除されていることを確認してください。
●ベッド設置後ロックされていない場合は、必ず操作ペダルを踏み込んでロックしてください。
●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

グラウンドロックキャスター

●グラウンドロックキャスターの操作ペダルはヘッド側とフット側の下方両側にあります。ヘッド側とフット側のペダルが独立しているので、ベッドの方向転換・配置転換がスムーズにおこなえます。

対象品番	FL-5460G 、FL-5461G 、FL-5462G

（ベットを上から見た図）

ストッパーペダルを押し上げます。

ロック解除する

ストッパーペダルを踏み込みます。

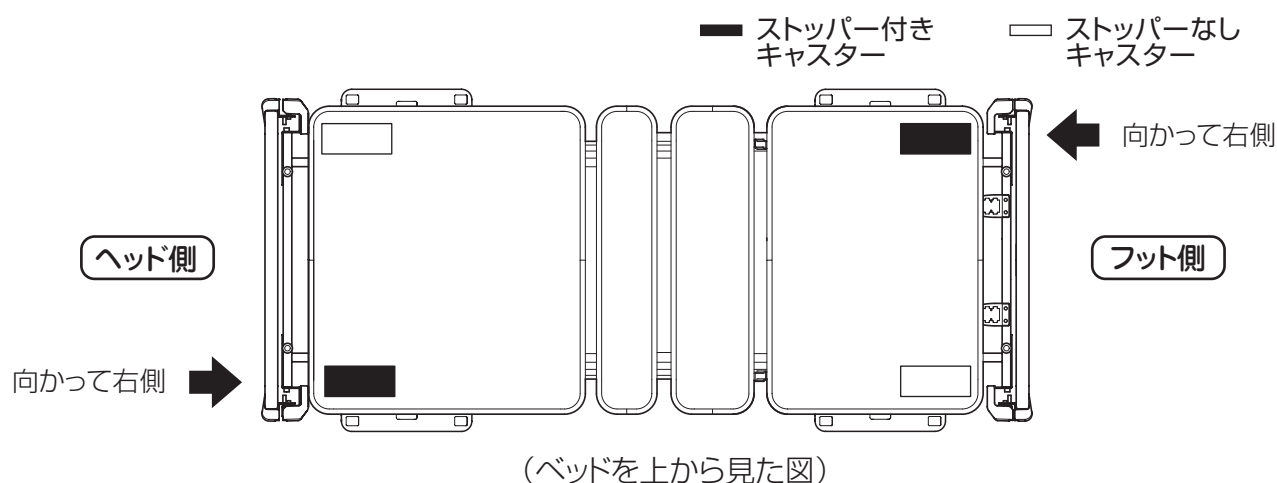
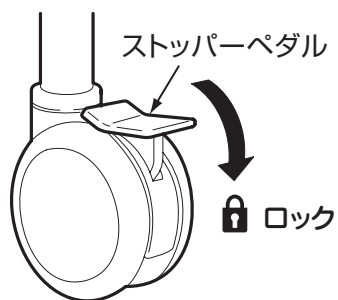
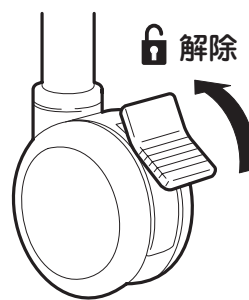
事故、破損、ケガをします。

●移動する際は必ず操作ペダルが下がっていることを確認してください。
●ベッド設置後は必ず操作ペダルを押し上げてロックしてください。
●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。
●床の状態によっては、ロックがききにくいことがありますが、故障ではありません。水平な場所にベッドを設置してください。

対角ダブルストッパーキャスター

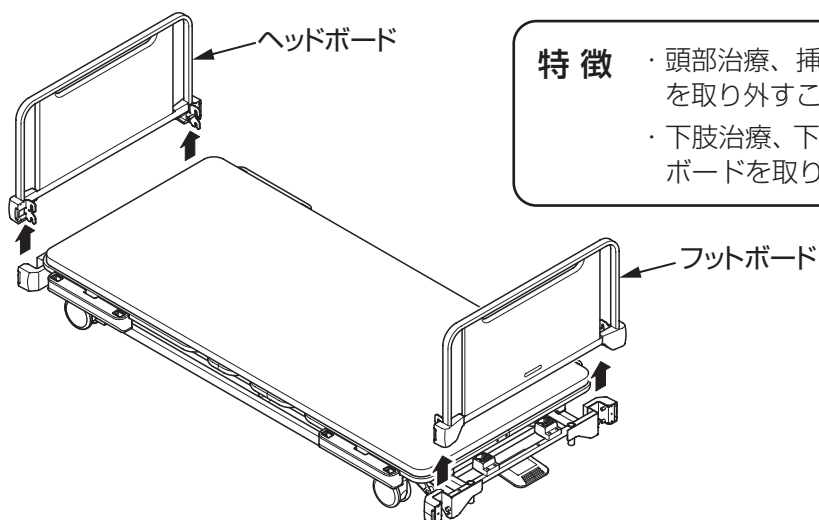
●対角ダブルストッパーキャスターのストッパーペダルは、ヘッド・フットボード側より向かって右側にあります。

対象品番	FL-5460C 、FL-5461C 、FL-5462C

（ベッドを上から見た図）

事故、破損、ケガをします。

●移動する際は必ずストッパーペダルを押し上げ、ロックを解除しておこなってください。
●ベッド設置後は必ずストッパーペダルを踏みこんでロックしてください。
●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

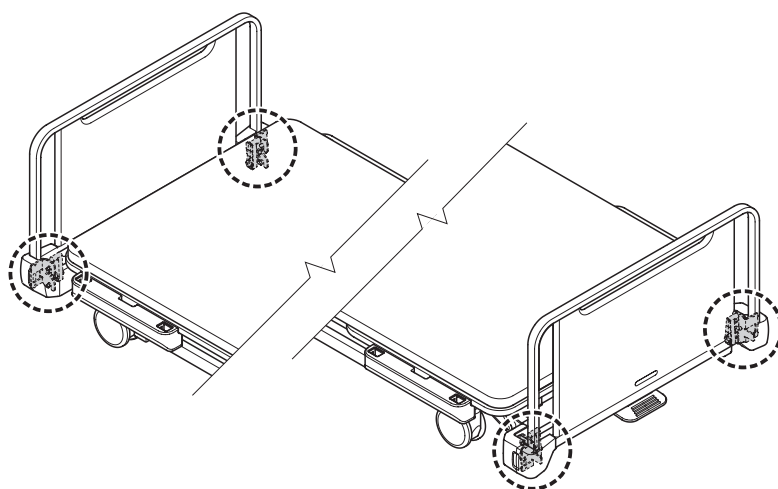
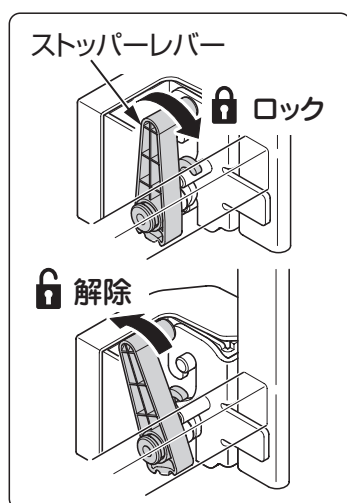
ヘッド・フットボードの着脱

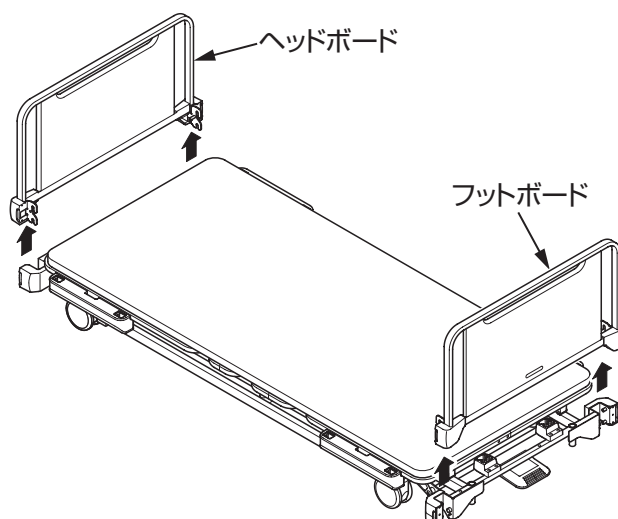
■ヘッド・フットボードは取り外すことができます。

特 徴
- ・頭部治療、挿管などの際にはヘッドボードを取り外すことが可能です。
- ・下肢治療、下肢訓練などの際には、フットボードを取り外すことが可能です。

着脱のしかた

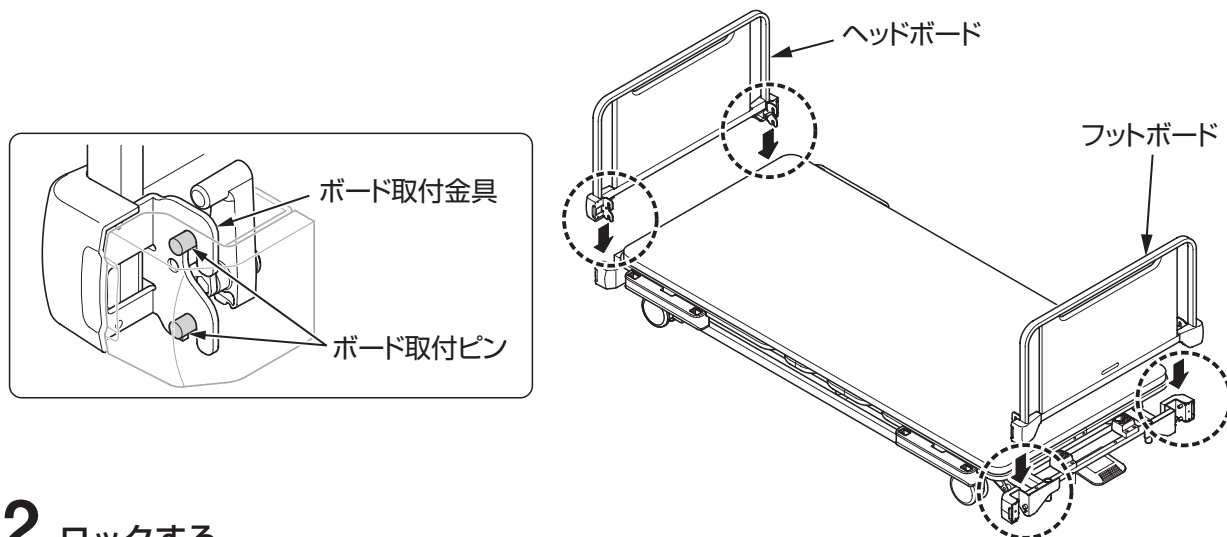
取り外しかた

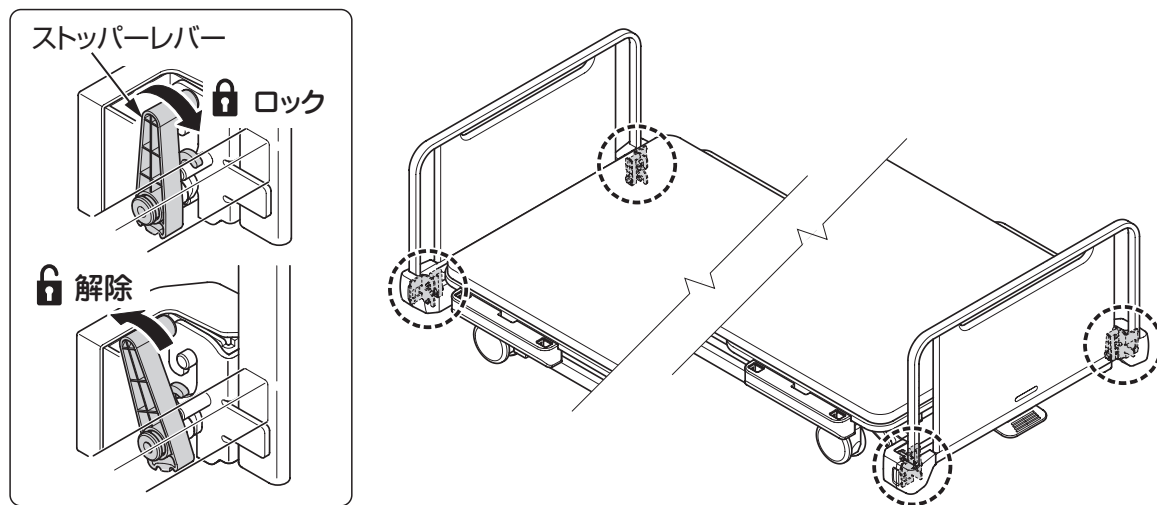
1 ロックを解除する

ストッパーレバーを矢印の向きに動かしてロックを解除します。

2 ヘッド・フットボードを取り外す

ヘッド・フットボードを両手で持ち、真上に取り外します。

取り付けかた

1 ヘッド・フットボードを取り付ける

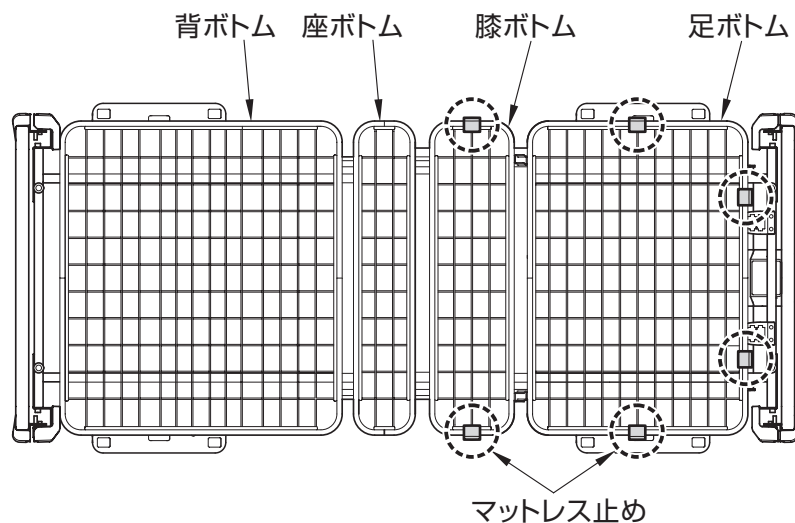
ボード取付金具が本体の2本のボード取付ピンに引っ掛かるように取り付けます。

2 ロックする

ストッパーレバーを矢印の向きに動かしてロックします。

注意

事故、破損、ケガをします。

- ●ヘッド・フットボードの取り付け、取り外しの際は、手や指などを挟まないように注意してください。
- ●ヘッド・フットボードの取り付けの際は、ボード取付け金具の溝が本体のボード取付けピンにきちんとはまり込んでいるか確認してください。
- ●装着後はストッパーレバーを必ずかけてください。不用意にボードが外れるおそれがあります。
- ●ヘッド・フットボードには腰を掛けたり寄りかかったり無理な荷重をかけないでください。

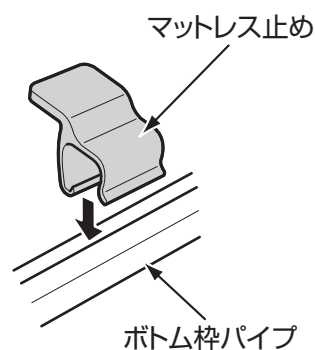
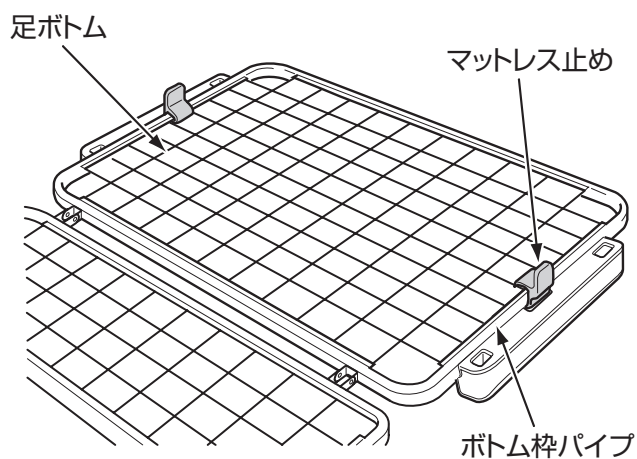
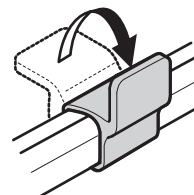
マットレス止め

■ベッドをお使いになる方に合わせて取り付け位置を決めてください。

（取り付け位置参考例）

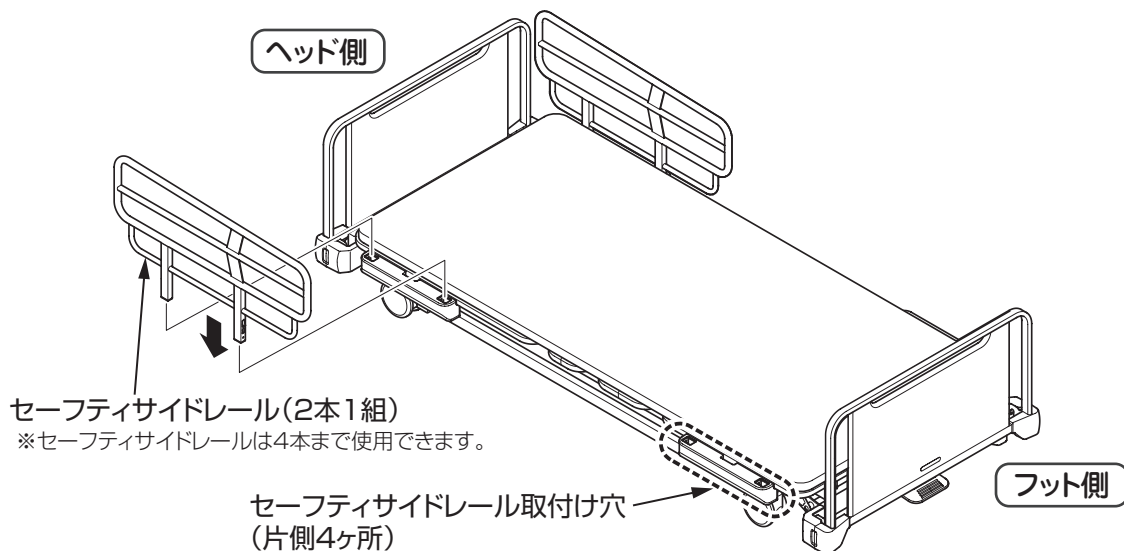
事故、破損をします。

- ベッドへの乗り降りの邪魔になるため、座ボトムへのマットレス止めの取り付けはおすすめできません。
- ギャッチ機構により上下しますので、背ボトムにはマットレス止めを取り付けないでください。

取り付けかた

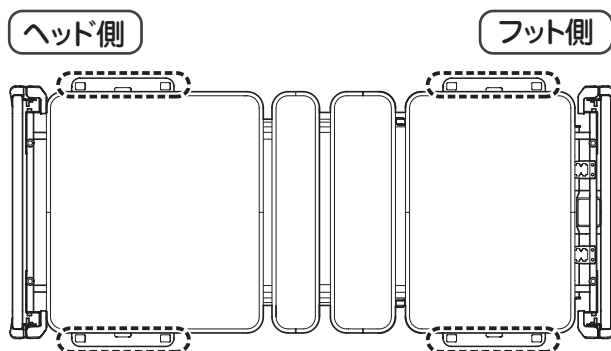
1 マットレス止めをボトム枠パイプに差し込む

2 取り付けたマットレス止めを矢印方向に回転させ、ボトム枠パイプに固定する

オプション

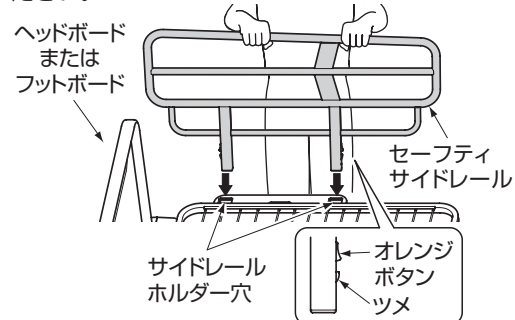
セーフティサイドレール

●ベッド両側のセーフティサイドレール取付け穴を利用してセーフティサイドレールを使用できます。

※イラスト中のセーフティサイドレールはAB-560です。

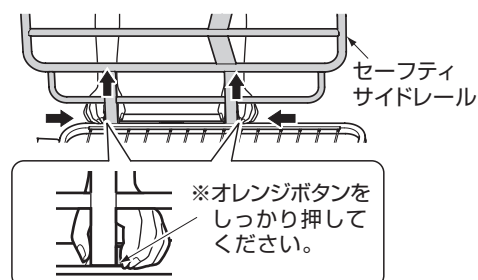
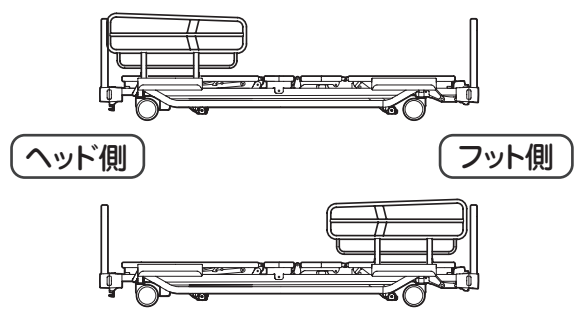
取り付けかた

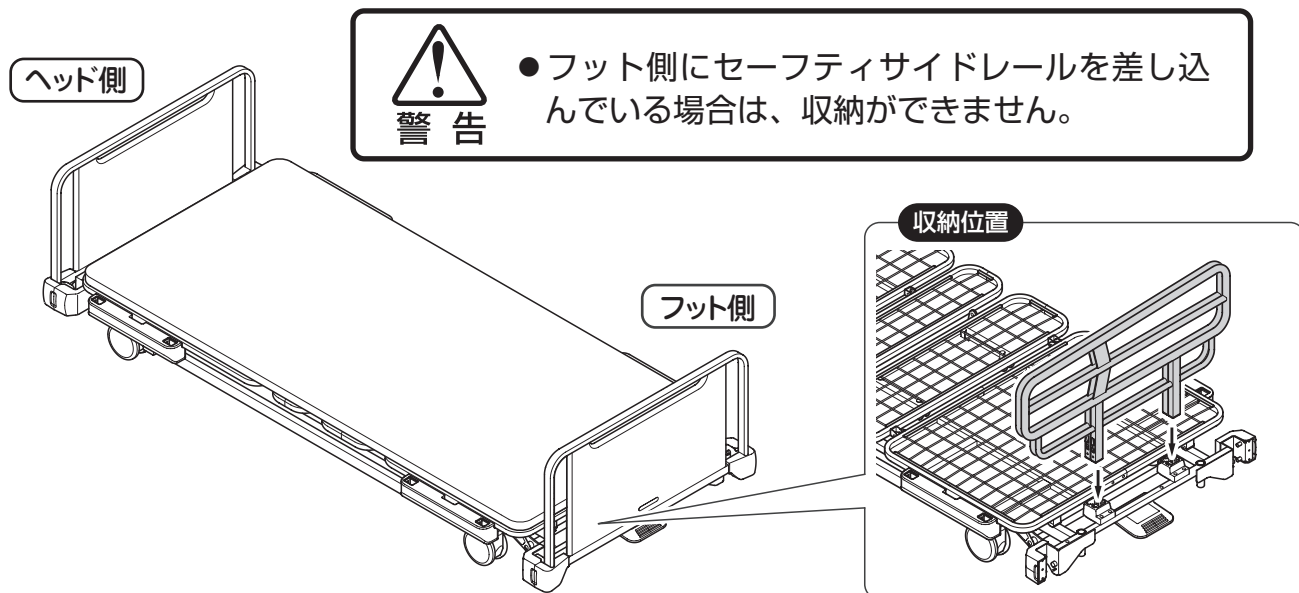
1 セーフティサイドレールを取り付ける

(点線枠)で囲んだそれぞれのセーフティサイドレール取付け穴を使用して、1本のセーフティサイドレールを奥まで差し込みます。

●取り付けかた

セーフティサイドレールを図のように持ち、ホルダー穴に「カチッ」と音が鳴るまでまっすぐ差し込んでください。

●取り外しかた

セーフティサイドレールのサイドレールストッパーのボタン(左右2ヶ所)を指で押しながら、両手でしっかりつかんで引き抜いてください。

使いかた

収納のしかた

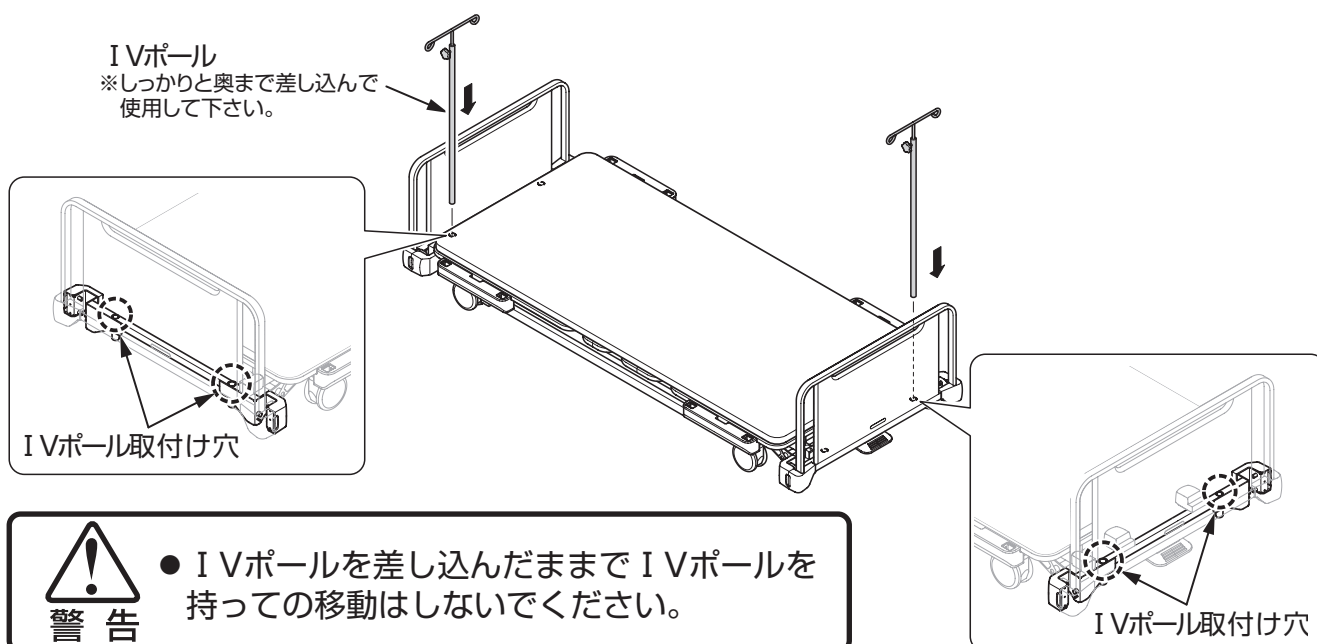
フットボードと足ボトムの間にセーフティサイドレールの収納ホルダーを設けています。
使用しないときはここに1セット(2本)収納できます。
※図はフットボードを外した状態です。

セーフティサイドレール

FL-5400シリーズに取付けることができるサイドレールの種類は下表のとおりです。

	セーフティサイドレール
品番	·AB-560

ＩＶポール

●ベッド本体にあるＩＶポール取付け穴にＩＶポールを取り付けることができます。

警 告
●ＩＶポールを差し込んだままでＩＶポールを持っての移動はしないでください。

マットレスの種類

■支援用具があれば日常動作が可能な方に適応

MB-2511・MB-2510・MB-4511・MB-1510・MB-1511・MB-3511　ダブルウェーブマットレス

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたりがありません。
- 通気性、通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 上下、裏表の区別はありません。
- 側地は、防水性で清拭消毒等が可能です。（MB-4511に限る）

■マットレス表面が硬さの異なるリバーシブル仕様のマットレス

RM-110・RM-410　リバーシブルマットレス

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性、通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 側地は、防水性で清拭消毒等が可能です。（RM-410に限る）

■生活動作全体で人的支援が必要な方に適応

SA-5511　リアルコンフォートマットレス

- 体圧分散効果が高く、身体を均一に支えることができます。
- プロファイル加工により身体との接触面が小さく身体の部位の圧迫を軽減します。
- 音鳴り軽減効果のある特殊な側生地を採用することにより、ギャッチアップ時の不快な摩擦音を低減します。
- 透湿性と防水性に優れているのでムレることがなく、付着した汚れは清拭による消毒が可能です。

注 意

事故、破損をします。

- このベッドには、必ず弊社製のマットレスを組み合わせてご使用ください。他社製のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ故障の原因になります。

日常のお手入れ

■拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞っておこなってください。

■その後、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

■洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

塩化ベンザルコニウム液(オスバン)	0.05%～0.2%
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)	0.05%～0.2%
クロルヘキシジン液(ヒビテン)	0.05%

事故、破損、ケガをします。
●事故を防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

必ず水で薄めた中性洗剤をご使用ください。
●揮発性のもの（シンナー、アルコール、ベンジン、アセトン、クレゾール）などは絶対に使用しないこと。本体が変色したり、塗装がはがれたりします。

故障かな?と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。
それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店に修理をご依頼ください。

症　状	チェック	処　　置
手元スイッチの電源ランプが消えている	コンセントに電源はきていますか？	コンセントに他の電気機器のプラグを差し込んで、電気がきているか確認してください。
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	手元スイッチのコネクターが電源ボックスから外れていませんか？	手元スイッチのコネクターを差し込んでください。 ☞13ページ参照
手元スイッチの操作禁止ランプが点灯しない	セーフティロックスイッチで操作不可にしていませんか？	セーフティロックスイッチで操作可にしてください。
	―	「手元スイッチの電源ランプが消えている」の項目を確認してください。
電源プラグが差し込まれているが、ベッドが動かない	ベッド周辺、可動部に障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。
ベッドの移動ができない	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。 ☞14～16ページ参照
ボードが外れない	ボードのストッパーレバーがロックされていませんか？	ボードストッパーをフリーの状態にしてください。 ☞17ページ参照

長期保管について

■ベッドの高さを最低位置まで下ろしてください。
■背ボトム、膝ボトムを水平の位置まで下ろしてください。
■ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
■マットレスの上には何も載せないでください。（マットレスの上に物を乗せたままにしますとマットレスが変形する場合がありますのでおやめください。）
■必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードは破損しないよう束ねてください。
■立て掛けたり、横倒しにしないでください。
■高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。
■取扱説明書は大切に保管してください。

アフターサービス

■サービスをご依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証期間中

①品名・品番
②お買い上げ日
③故障・異常内容（詳しく）
④施設名・ご氏名・ご住所・電話番号

保証期間が過ぎているとき

お買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

■このベッドには保証書を添付しています。［販売日・購入日］などの記入事項をよくお読みいただき、大切に保管してください。
■保証期間は、お買い上げから1ヶ年間です。
■弊社では、ベッドの補修部品（商品の機能を維持する部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。
■アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店にご相談ください。

1.保証書

この医療・療養施設用ベッドには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2.修理を依頼されるとき

故障した際は、お買い上げ販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名、品番　●故障・異常の内容(できるだけ詳しく)　●お買い上げ日　●病院・施設名、お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

サービスを依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくはメーカーにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。
詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

3.アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくはメーカーまでお問い合わせください。

保 証 書

品名／品番	FL-5400シリーズベッド	保証期間	お買い上げより1ヵ年間
お客様	お名前 〒 住所 TEL	販売店	お買い上げ日　年　月　日 販売店名 住所 TEL

1.1年間の保証期間に取扱説明書に従った正常な使用状況で故障した場合には、無償修理致します。
2.保証期間内でも次の場合は有償になります。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損がある場合。
②お買い上げ後の落下による事故および破損。
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
④本書の提示がないもの。
⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3.本書は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4.本書は再発行いたしませんので紛失しないようご注意ください。

販売店の方へのお願い　お買い上げ日および貴店名、住所、電話番号を記入、捺印したうえでお客様にお渡しください。

修理・お取り扱いお手入れなどのご相談は、
まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

10月1日は 福祉用具の日

カスタマーサポートお問い合わせ窓口 ▶▶▶ **FreeCall 0120-20-1001**（無料 ツーワ）

シーホネンス株式会社　【大阪本社】〒537-0001 大阪市東成区深江北3-10-17 TEL 06-6973-3471

©2010 SEAHONENCE INC.（シーホネンス株式会社）All Rights Reserved.

2010.04.01